

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 24日

青森市長様

提出者

住所 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-4-10

氏名

共立建設㈱東北支店 取締役支店長 鎌田 典余

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 022-297-5801

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

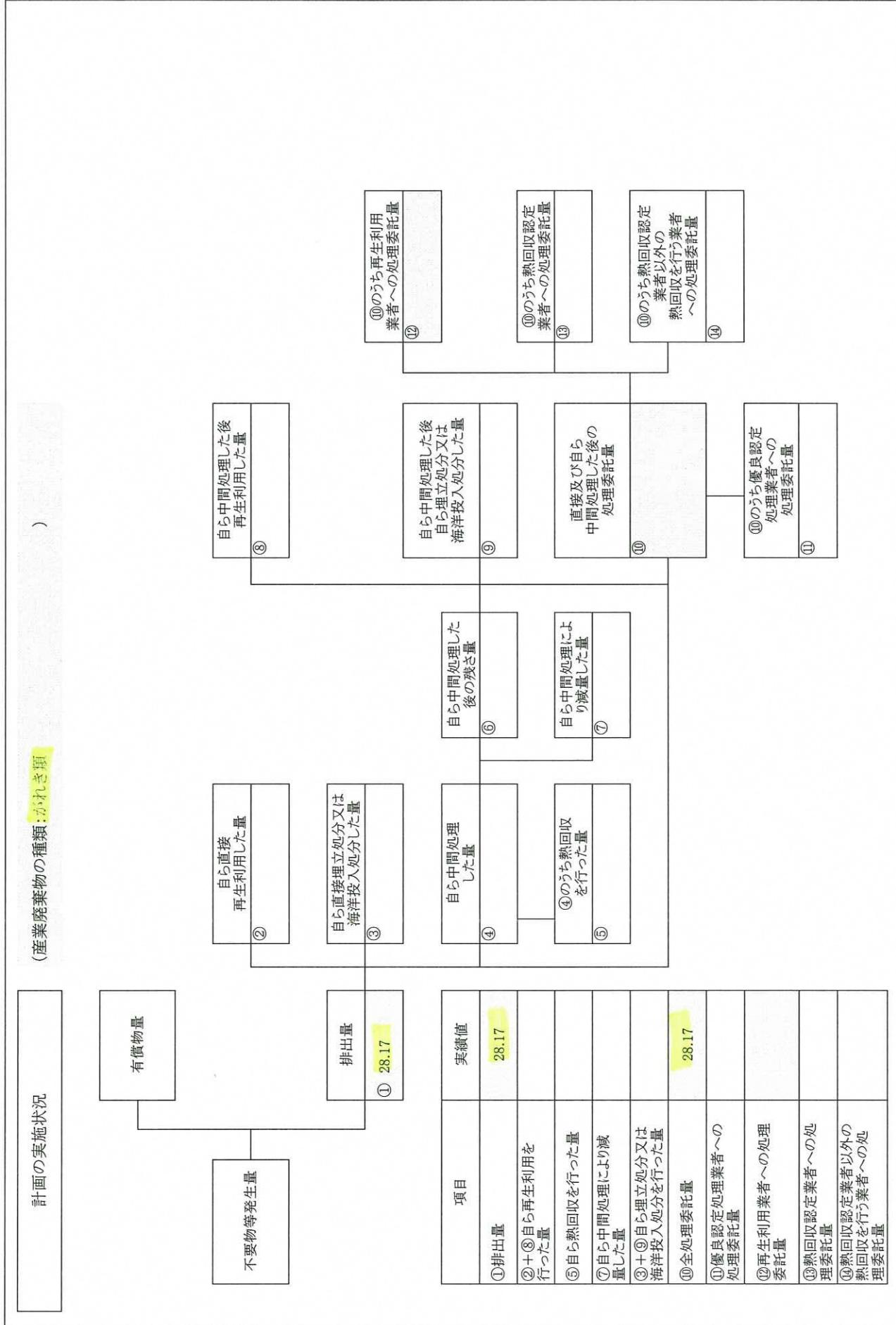
事業場の名称	堤ビル2棟外壁改修工事 青森市内諸工事
事業場の所在地	青森県青森市大字堤町1丁目7-19 他
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

別紙の通り

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0t	全処理委託量	0t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	0t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	0t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

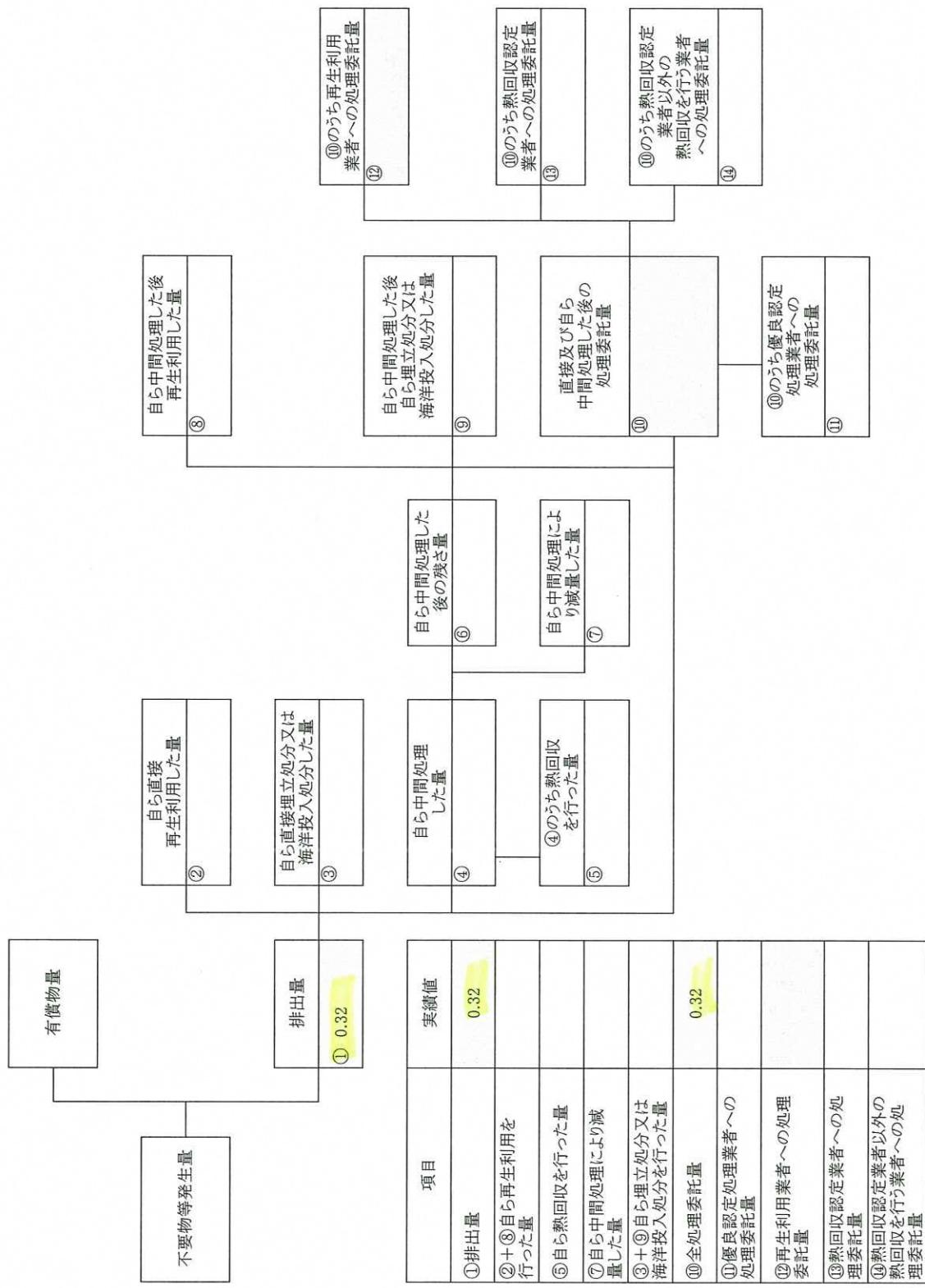
(日本産業規格 A列4番)



(回数)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:ガラスくず、陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

不要物等発生量	有償物量
---------	------

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	直接及び自ら中間処理した後の量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後、再生利用した量	自ら中間処理した後、再生利用した後、再生利用した量
①排出量	0.8		⑥	⑦	⑨	⑫	⑧	⑩
②+③自ら再生利用を行った量		④		⑤		⑪		⑬
⑤自ら熱回収を行った量								⑭
⑦自ら中間処理により減量した量								⑮
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量								⑯
⑩全処理委託量	0.8							
⑪優良認定処理業者への処理委託量								
⑫再生利用業者への処理委託量								
⑬熱回収認定業者への処理委託量								
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

)

自ら中間処理した後、再生利用した量
⑧

⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬	
⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑮	
⑯のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑰	

(回2表)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類 石綿含有)



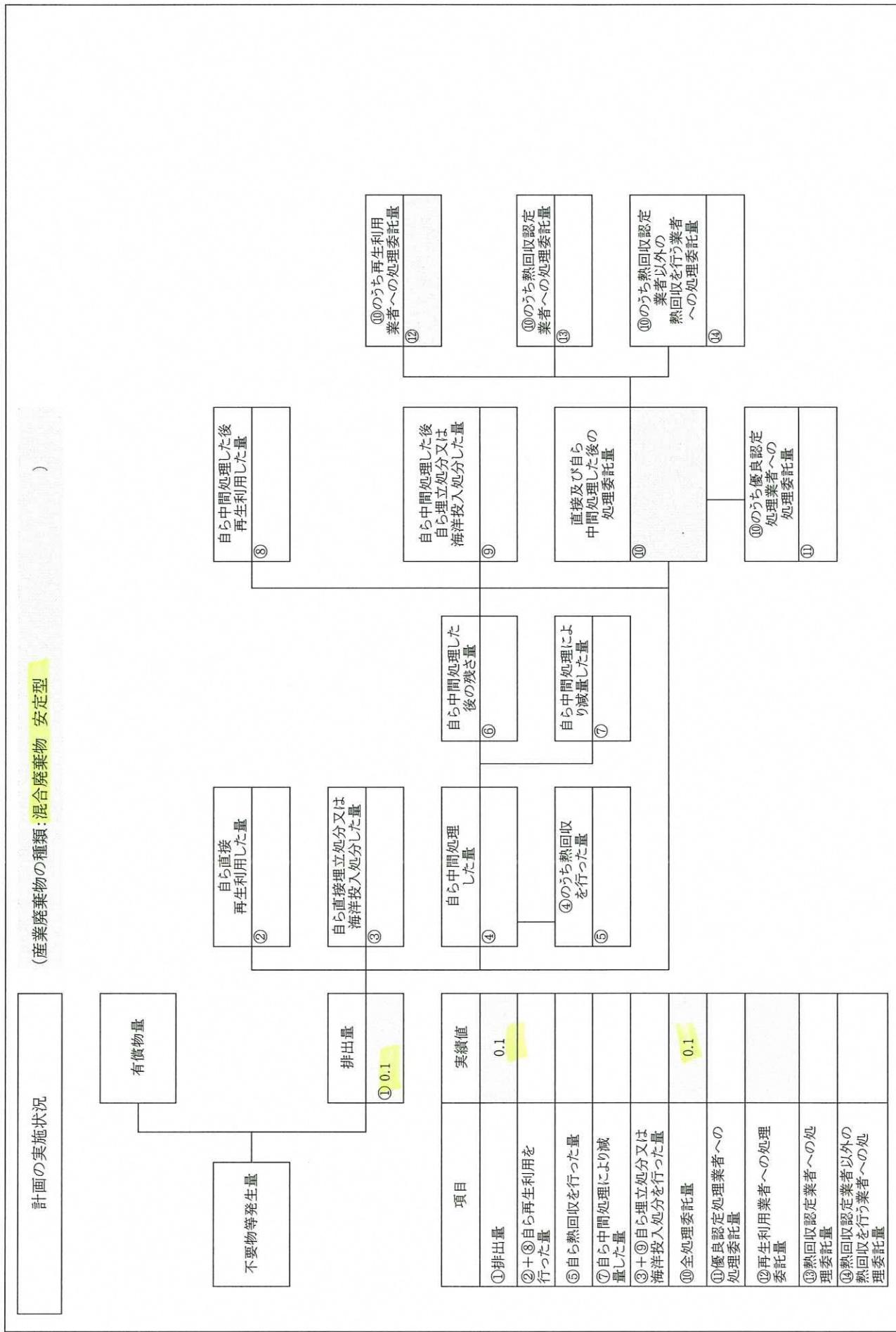
不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

自ら直接理立処分又は
海洋投入処分した量
③

排出量
① 0.25

項目	実績値										
①排出量	0.25	④	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理 した量	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑨	自ら中間処理した後 自ら理立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩	自ら中間処理した後 自ら再生利用した量 ⑪	自ら直接理立処分又は 海洋投入処分した量 ⑫	自ら直接再生利用した量 ⑬
②+⑧自ら再生利用を行った量		⑤	④のうち熱回収 を行った量		⑥	⑦	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑤自ら熱回収を行った量											
⑥自ら中間処理により減量した量											
⑦自ら中間処理により減量した量											
⑩自ら理立処分又は海洋投入処分を行った量											
⑪全処理委託量	0.25										
⑫優良認定処理業者への 処理委託量											
⑬再生利用業者への処 理委託量											
⑭熱回収認定業者への処 理委託量											
⑮熱回収を行う業者への処 理委託量											



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:木くず)



不要物等発生量
1.1

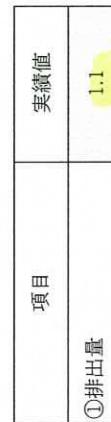
排出量
①.1

有償物量
②



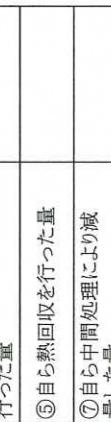
自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後
再生利用した量
④



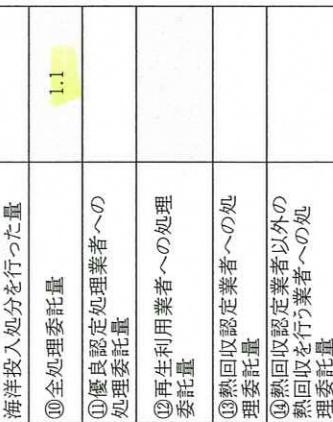
自ら中間処理した
後の残さ量
⑥

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑦



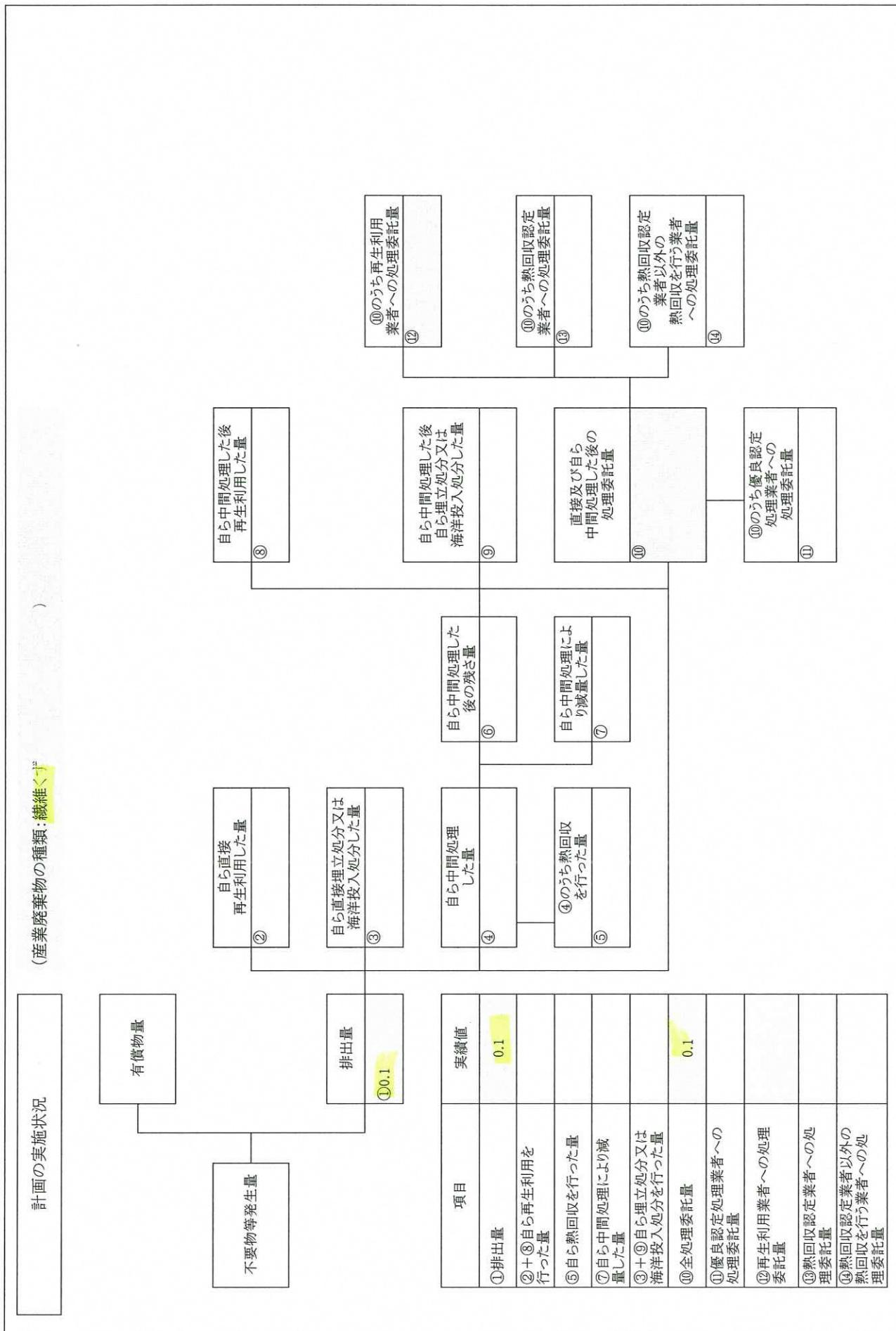
自ら中間処理により
減量した量
⑨

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑩



自ら中間処理により
減量した量
⑫

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑬



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 破石骨ボード)

)



不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

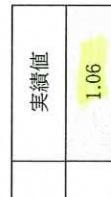
自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑪のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫



自ら中間処理
した量
④

自ら中間処理
した後の残さ量
⑥

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨



実績値
① 1.06

自ら中間処理
した量
④

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑩



実績値
② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫ = 1.06

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑪

①排出量	自ら直接 再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量									
② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫ = 1.06	自ら直接 再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量									
⑪全処理委託量	自ら直接 再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量									
⑫優良認定業者への 処理委託量	自ら直接 再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量									
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	自ら直接 再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量									
⑭熱回収をを行う業者への 処理委託量	自ら直接 再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量									

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

凡例 下段 : 前年度実績発生量

廃棄物種類	がれき類			ガラス 陶磁器 くず	ガラス 陶磁器 くず (石綿含有)	廃プラス チック類 (石綿含有)	金属くず	混合廃棄物		紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏 ボード	廃石綿	特別管理 産廃物
	RCがら	Asがら	その他					安定型	管理型						
(前年度)産業廃棄物 発生量	25,700	2,340	0,130	0,000	0,320	0,000	0,800	0,250	0,000	0,100	0,000	0,000	1,100	0,100	0,000
①産業廃棄物排出量 (目標)	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
②自ら直接利用した量
③自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
④自ら中間処理した量
⑤④のうち熱回収を行った量
⑥自ら中間処理した後の 残さ量
⑦自ら中間処理により 減量した量
⑧自ら中間処理した後 再生利用した量
⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海洋 投入処分した量
⑩直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	25,700	2,340	0,130	0,000	0,320	0,000	0,800	0,250	0,000	0,100	0,000	0,000	1,100	0,100	0,000
⑪⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
⑫⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	25,700	2,340	0,130	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,100	0,000	0,000
⑬⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
⑭⑩のうち熱回収を行う 業者への処理委託量

※工事受注内容(建物解体工事の有無、件数)等により産業廃棄物の発生量は大きく異なります。2024年度は青森市内の工事受注の見込みがありませんので産廃の排出予定は0の見込みです。